



# 2023がまごおり海と風レース

兼第55回日本オプティミスト級セーリング選手権大会枠取得予選

## 帆走指示書 (SI)

Ver. 3



2023.7.22-23 ILCA4、ゴールド、シルバー、ブロンズ  
主催：海陽海洋クラブ 開催地：海陽ヨットハーバー  
協賛：ヤシマリンサービス SAIL FAST ノースセールジャパン

### 略語

【SP】レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これはRRS63.1及びA5を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。

【DP】プロテスト委員会の裁量により、ペナルティーが決定する規則を意味する。

【NP】艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これはRRS60.1(a)を変更している。

### 1. 規則

- 1.1 本レガッタはセーリング競技規則2022-2024(以下規則と言う)に定義された規則を適用する。
- 1.2 RRS61.1(a)の変更として、『抗議しようとする艇は、フィニッシュ後、直ちにフィニッシュ・ラインに位置するレース委員会艇に被抗議艇のセールナンバーを伝えなければならない。但し、これを行えない合理的な理由がある場合は、この限りではない。』を追加する。
- 1.3 ILCA4、ゴールドクラスは、付則Pを適用する。



### 2. 選手への通告

- 2.1 選手への通告は、大会本部に設置された公式掲示板(クラブハウス西棟海側)に掲示する。
- 2.2 掲示板への密を避けるために、大会LINE オープンチャットにも参考情報として同内容を掲示する。
- 2.3 公式掲示板と大会LINEオープンチャットの掲示時刻に相違が生じた場合公式掲示板の通知時刻をもって通知が行われたものとする  
【公式掲示】LINEオープンチャット  
各クラブの指導者や父兄は登録し、自クラブの選手へ伝達すること。

[https://line.me/ti/g2/IgUqnDpj2MMBjo5cXwgLP71ji1Hvh2hfzSelLw?utm\\_source=invitation&utm\\_medium=link\\_copy&utm\\_campaign=default](https://line.me/ti/g2/IgUqnDpj2MMBjo5cXwgLP71ji1Hvh2hfzSelLw?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default)

### 3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、その日最初のレースのスタート60分前までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、クラブハウス西棟南口前に設置された信号ポール(西側)に掲揚する。信号がフリート旗の上に掲揚された場合は、そのフリートのみに適用する。
- 4.2 【DP】音響1声と共に掲揚される『D旗』は、「予告信号は、D旗の掲揚後20分以降に発する。艇はこの信号が発せられるまで、ハーバーを離れないこと。」を意味する。

### 5. 大会のスケジュール

#### 5.1 レース日程

7月22日(土)	船の搬入(中央ゲート)	7:30
	受付(クラブハウス西棟前)	8:30
	開会式・選手コーチミーティング	9:00
	ILCA4第1レース予告信号	10:25
	ゴールドクラス シルバークラスの順で続けて予告信号	
	※ゴールドクラス、シルバークラス同時にスタートする場合がある。	
	※ブロンズクラスはハーバー内にてイベントを開催 別途連絡します。	
	ILCA4講習会(西棟南口前 自由参加)	18:00
7月23日(日)	ILCA4紹介講習会(西棟南口前 自由参加)	8:30
	選手コーチミーティング	9:00
	最初のレース予告信号	9:55
	引き続き合計7レースを実施予定。	
	表彰式	18:00予定
	※変更する場合はLINEオープンチャットにて公示される。	

※土曜日のみに、ブロンズクラスは楽しくOPに接してもらいたい為、当日の天候などを考慮して開催時間を口頭及びLINEチャットでお知らせします。ライフジャケットを持参のうえお集まりください。簡単なレクチャーの後に様々なイベントを開始したいと考えております。

- 5.2 引き続きレースが行われる場合には、次のスタートが間もなく始まることを喚起するために、RCは予告信号の5分前までに音響1声と共にオレンジ色旗を掲揚する。
- 5.3 7月23日(日) 15:30を過ぎても予告信号は発せない

### 6. クラス旗及びフリート識別リボン

- 6.1 **ILCA4クラス**は水色地にレーザーマークとする

- 6.2 ゴールドクラスは白地に赤のOP旗。シルバークラスは赤地に白のOP旗とする。
- 6.3 ゴールドクラスはリボン無し。シルバークラスはリボンをスプリット先端につけること。

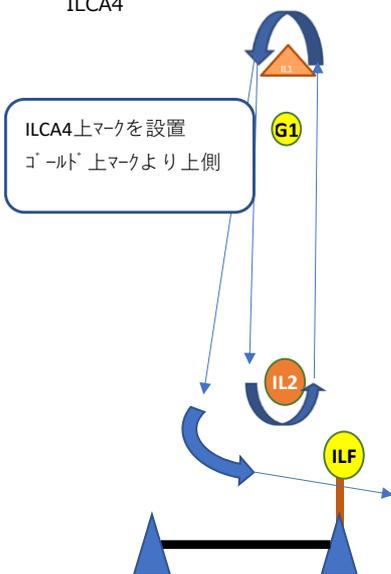
7. レースエリア

- 7.1 ILCA4,ゴールドクラス及びシルバークラスのレースエリアは右図の通りである
- 7.2 ブロンズはハーバー湾内で開催



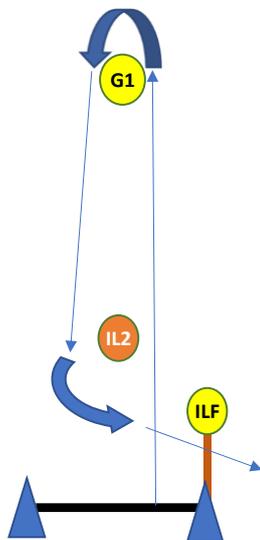
8. コース コースは下図の通り

ILCA4



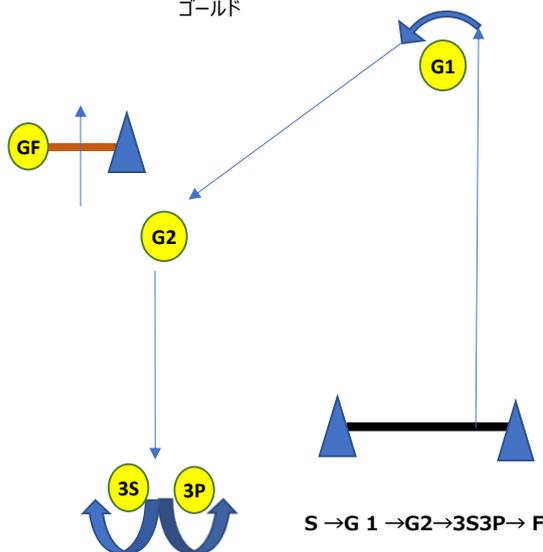
S → IL 1 → IL2 → IL1 → IL2 → F

シルバー



S → G 1 → IL2 → F

ゴールド



S → G 1 → G2 → 3S3P → F

9. マーク

- 9.1 ILCA 4 の1マークはオレンジ色三角錐、ILCA4の2マーク（シルバー2マーク）はピンク色マークとする
- 9.2 ILCA 4、シルバークラスのフィニッシュアウターは青色旗のついたオレンジ色パイとする
- 9.3 ゴールドクラスの1、2、**3S,3Pマーク**は橙色円筒パイとする。フィニッシュアウターは青色旗のついたオレンジ色パイとする。

10. スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上でオレンジ旗を掲揚しているボールの間とする。
- 10.2 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった艇(DNS)」として記録される。

11. コースの次のレグの変更

- 11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は元のマークまたはフィニッシュ・ラインを新しい位置に移動する。

12. フィニッシュおよびタイムリミット

- 12.1 ILCA4及びシルバークラスは青色旗のついたオレンジ色パイと、フィニッシュRC艇の青色旗のマストの間とする。

12.2 ゴールド フィニッシュ・ラインは、青色旗のついたオレンジ色パイと、フィニッシュRC艇の青色旗のマストの間とする。

12.3 タイムリミットは、先頭艇フィニッシュ後15分とする。

### 13. 抗議と救済要求

13.1 抗議書は陸上本部で入手できる。

13.2 **ILCA4,ゴールド、シルバー、それぞれのフリートに対して、抗議締め切り時間は、当該最終レース終了後またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した時刻のいずれか遅い方の60分後とする。**

13.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締め切り後10分以内に通告が公式掲示板及びLINEオープンチャットで掲示される。審問はクラブハウス西棟南口付近にて掲示された時刻に行われる。

13.4 レース委員会、プロテスト委員会による抗議の通告を、RSS61.1(b)に基づき艇に伝えるために公式掲示板及びLINEオープンチャットに掲示する。

13.5 規則 42違反に対するペナルティーを課された艇のリストは公式掲示板及びLINEオープンチャットに掲示される。

### 14. 得点

14.1 本大会は、1レースをもって成立とし、最大7レースを予定する。

14.2 艇のシリーズ得点は以下の通りとする。

3レース以下の場合：レース得点の合計。

4レース以上完了の場合：最も悪い得点(DNEは除く)を除外したレースの得点の合計。

### 15. 申告

15.1 ILCA4クラス/ゴールドクラス/シルバークラス及び支援艇の出艇および帰着申告は、クラブハウス西棟にある受付で行う。

選手自身または所属クラブの代表者が、クラブ全艇分を取りまとめて行わなければならない。

支援艇の出艇及び帰着申告は、無線機の貸し出し、返却をもって行われる。

15.2 出艇申告は、当日の午前9時から当該クラスのD旗掲揚10分後までに行わなければならない。

15.3 海上でリタイアした艇は、帰着後すみやかに所属クラブの代表者が帰着申告を行うこと。

15.4 帰着申告は、その日の最終レース終了時、またはレース委員会が本日よりこれ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分までに行わなければならない。ただし、レース委員会の裁量により延長することがある。

### 16. 安全規定

16.1 【DP】【SP】選手は離岸から着岸まで、ライフジャケットを着用すること。

16.2 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くオフィシャルボートまたは陸上本部に伝えること。

16.3 救助を必要とする選手は、笛を吹くかバドルまたは片腕を振って知らせること。RCは、救助を要すると判断した場合には、その選手の意向にかかわらず、救助することができ、これは救済要求の根拠にはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

### 17. 装備と計測のチェック

17.1 【NP】【DP】艇や装備は、クラス規則と帆走指示書に従っている事を確認するため、いつでも検査される事がある。

### 18. オフィシャル・ボート

18.1 以下の艇をオフィシャル・ボートとして、標識は、次のとおりとする。

RCの信号艇 海陽海洋クラブ旗

RC艇 ピンク旗

プロテスト委員会艇 白地に黒字でJURYと書かれた旗

支援艇 ハーバーから支給される黄色い三角の出艇旗

※支援艇は支援艇旗を掲揚する為に、旗棒をご準備ください。

### 19. 支援艇

19.1 【NP】【DP】支援艇は、海上では黄色三角旗を付け、陸上・海上を問わずレース委員会の指示に従うこと。

19.2 支援艇は非常の場合や悪天候に対して警戒が必要で、かつレース委員会艇に『V旗』を掲揚した場合には、救助活動に協力すること。

19.3 支援艇は通常体制でも、レースに影響を与えない事を条件として、レース艇フリートの最後尾に付き、リタイア艇に対して、救助活動ができるものとする。ただし、レース委員会艇の指示に従うこと。

19.4 支援艇は大会側から貸し出される無線機を携帯し、常に傍受しなければならない。

また、貸し出された無線機は、自然劣化を除き、貸し出された状態を保全しなければならない。

帰着後に貸し出しを受けた場所へ傍受専用無線を返却しなければならない。

### 20. ごみの処分

艇および支援艇は、水中にごみ等を捨ててはならない。支援艇、運営艇に預けてもよい。

### 21. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、全ての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。

また、この制限は携帯電話にも適用される。

### 22. 主催者責任の否認

22.1 選手は自分自身の責任でレースに参加する。

22.2 規則4の[レースすることの決定]を参照。また、主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。